

NanoTerasu公開イベント 見えない世界が、見える日！

2024年4月に運用開始された放射光施設「NanoTerasu(ナノテラス)」
放射光施設はナノレベルの世界を覗く「巨大な顕微鏡」と言われますが、「NanoTerasu」は単なる「施設」の枠を越え、様々な人やモノ、コトをつなぐイノベーション・エコシステムのコアとなります。
仙台、宮城の地で動き出したこのプロジェクトの舞台裏や、普段は立ち入りできない施設内部からのWeb中継など、「NanoTerasu」運営の第一線に携わる講師たちが「NanoTerasu」を皆様に紹介し、そして未来を語ります。

 NanoTerasu

2024

日時 **12/26** (木)

開始 **13:00**

(開場12:30 終了予定15:35)

参加無料

会場 イベントスペース
「CROSS B PLUS」
(仙台市青葉区大町1丁目1-30
新仙台ビルディング1階)

申込み等

対象: 高校生及び高専生(高校・高専の教員も申込可)

定員: 50人程度(応募多数の場合は抽選)

申込締切: 令和6年12月13日(金)

申込フォームはこちら→

<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1730188660323>

問合せ: 宮城県経済商工観光部新産業振興課
(shinsanr@pref.miyagi.lg.jp)



講師のご紹介

国立研究開発法人
量子科学技術研究
開発機構

NanoTerasuセンター
高橋 正光 センター長



青森県青森市出身。大型放射光施設SPRING-8で放射光を利用した研究、NanoTerasuで放射光ビームラインの開発・整備に携わり、2024年より現職。施設の代表としてNanoTerasuの安定運転・機能強化に尽力している。

一般財団法人光科学
イノベーションセンター
高田 昌樹 理事長



広島県呉市出身。2015年より東北大学総長特別補佐／教授として東北放射光計画を推進。2017年より(一財)光科学イノベーションセンター理事長を兼任し、NanoTerasuの整備・運営に携わっている。

東北大学研究推進部
ナノテラス共創推進課
渡邊 真史 特任教授



1999年より東北大学勤務。放射光等を使った構造物性/電子物性物理学や金属の応力腐食割れの研究者としての経験を活かし、2016年からは、ナノテラスを核とした産学共創のイノベーション・エコシステムの構築に必要な企画立案等に携わる。

スケジュール(予定)

- 13:00-13:10 イントロダクション
- 13:10-13:55 高橋センター長ご講演 (ナノテラスの実験ホールとWeb中継(予定)しながら施設をご紹介します)
- 13:55-14:40 高田理事長ご講演 (ナノテラス建設の経緯や、今後の将来像などをご紹介します)
(休憩)
- 14:50-15:35 トークセッション (3名の講師が参加者との質疑応答も交えながらナノテラスについて語ります)

主催: 宮城県

共催: 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構NanoTerasuセンター

一般財団法人光科学イノベーションセンター・国立大学法人東北大学・一般社団法人東北経済連合会・仙台市